

平成27年度事業計画

公益財団法人川崎市文化財団

川崎市文化財団の事業運営の基本方針

- (1) 市民の文化芸術活動を振興し、川崎市における文化芸術の創造を促進するため、多様なジャンルの各種の文化芸術事業を実施します。
- (2) 文化芸術施設の管理運営を通して、市民の自発的かつ創造的な文化芸術活動の場を提供し、文化芸術の創造と発信、文化芸術活動の支援と協働を推進します。
- (3) 夢や希望を与え、人のつながりを生む文化芸術活動を通じて、市民が生き生きと心豊かに暮らせるまちづくりを推進する川崎市の方針を実現する中核的な組織としての自覚を持って、財団全体の組織力を結集し、経営感覚に富んだ効率的な事業運営を行います。

I 財団本部事業

1 文化事業

(1) 文化振興事業

①文化情報事業

市民文化活動の活性化を図り、生き生きとした市民文化を育てていくための様々な文化活動情報の提供を行います。

ア. 文化情報誌「かわさきアートニュース」の発行(月 3, 500 部)

文化財団が実施する各種事業に携わる文化人、文化団体のインタビュー記事を始め、市内の各種文化事業情報をお知らせする文化情報誌を毎月発行します。

イ. 文化情報の発信

市内の文化情報資料(美術、音楽、刊行物等)を市民に提供するとともに、インターネットによる情報発信を行います。

②芸術文化育成事業

ア. 市民の文化・芸術活動を支援・育成するため、川崎能楽堂において、市民に優れた文化芸術公演を鑑賞する機会を提供します。

(ア) 芸能サロン(1月)

イ. 市民の芸術文化を普及するため、美術展、演劇等の創作発表等を支援します。

(ア) かわさき市民アンデパンダン展（7月）

芸術文化を普及するため無審査方式のかわさき市民アンデパンダン展を開催します。

(イ) かわさき演劇まつり（演劇講座）（7月）

1年おきに、「かわさき演劇講座」と「かわさき演劇まつり」（公演）を開催して演劇文化の振興・普及を支援します。

(ウ) 川崎郷土・市民劇

川崎の歴史上の人物や川崎の発展に寄与した人物をテーマに、市民が制作した演劇作品を市民と共に上演し、演劇文化の向上を図るとともに、街づくりに寄与します。

創作劇「華やかな散歩」公演(5月)

多摩市民館において3公演（川崎・しんゆり芸術祭2015の参加公演）
教育文化会館において3公演

③歴史文化事業

地域の歩みや移り変わりを伝える歴史的・文化的資源等を市民に紹介し、ふるさと意識の醸成と市民文化の振興を図る事業を行います。

ア. 歴史ガイドパンフレット等の市民への提供

イ. 歴史ガイドパネルの管理 既設パネル数 156基

ウ. 歴史ガイドパンフレット等を活用した学習会の実施

④古典芸能普及事業

川崎能楽堂において、日本の代表的な古典芸能である能楽の普及に努めます。

ア. 夏休み能楽体験・鑑賞教室の開催

次代の市民文化活動の担い手となる小・中学生を主な対象として、能楽の講座、仕舞、つづみ、太鼓、笛等の実技体験と、わかりやすい解説を加えた能楽鑑賞からなる3日間にわたる入門講座を開催します。（7月）

イ. 能楽教室の開催

能楽師が謡曲、仕舞、能囃子の笛・つづみ等の実技指導を行う能楽教室を週2回開催します。

(2) 芸術文化事業

①公演事業

ア. 川崎能楽堂定期公演

観世流・喜多流など各流派による能・狂言の定期公演を3回開催します。

狂言の定期公演を1回開催します。

イ. 能楽普及公演

川崎・しんゆり芸術祭（アルテリッカしんゆり）において、能・狂言の公演を1回開催します。

②美術展等開催事業

ア. アートガーデンかわさき企画展の開催

市民が広く芸術文化に触れる機会を提供する展示事業を行います。

川崎区誌研究会及び市立図書館との共同企画展（1月）

イ. アートガーデン共同開催企画展

市民の創造的な文化活動の発表の場を提供し、身近な人々の作品を鑑賞することで、文化活動の裾野を広げる事業を市内文化団体等との共同で開催します。

(ア) 「かわさき平和美術展」 (8月)

(イ) 「川崎美術協会展」 (10月)

(ウ) 「川崎区文化協会美術展」 (11月)

(エ) 「川崎市書道連盟展」 (11月)

(オ) 「川崎市立高等学校合同芸術祭」 (1月)

(カ) 「かわさき市民芸術祭」 (2月)

(3) 文化施設運営事業

①能楽堂管理運営事業

ア. 市民団体等の芸能文化活動等の場としての利用に供します。

②アートガーデンかわさき管理運営事業

ア. 市民団体等が各種美術作品等を発表し、市民等が鑑賞するギャラリーとしての利用に供します。

③新百合トウェンティワン管理運営事業

ア. 新百合トウェンティワンホールにおいて、市民に優れた文化芸術公

演を鑑賞する機会を提供します。

- (ア)アルテリッカ演芸座（5月：川崎・しんゆり芸術祭2015の参加公演）
- (イ)子ども狂言教室（12月～3月）
- (ウ)自主文化事業（3月）
- (エ)アルテリッカ新ゆり美術展（3月：アルテリッカ新ゆり美術展実行委員会との合同主催）

イ. 新百合トウエンティワン地下2階の多目的ホール、会議室、研修室等を、市民の創造的な文化活動を支援する場、演劇等の文化芸術を発信する場、及び絵画展、写真展等のギャラリーとしての利用に供します。

④ラゾーナ川崎プラザソル管理運営事業

- ア. ラゾーナ川崎プラザソルにおいて、文化芸術の発信事業として、「ラゾーナ寄席」を毎月1回(第3火曜日)開催します。
- イ. 川崎駅周辺の賑わいづくりの場、話題性のある文化発信の場、多様な文化芸術と出会える場としての利用に供します。

(4) 共催事業

①川崎大師薪能(5月)

川崎の初夏の風物詩として市民の方々に長年に渡り親しまれてきた川崎大師能を、川崎大師平間寺（特設舞台）において実行委員会と共に開催します。今回は第40回記念公演として、例年以上に充実した内容で開催します。

②（仮称）かわさきジャズ・フェスティバル2015(11月)

音楽を通じた国際的な文化交流、人材育成をねらいとし、国内外のジャズプレイヤーによる公演をはじめ、市内音楽大学と連携した教育プログラムや市内各所でのフリーライブ等、ジャズを軸とした総合フェスティバルを実行委員会とともに開催します。

（開催予定会場）

ミューザ川崎シンフォニーホール / ラゾーナ川崎プラザソル /
CLUB CITTA / 洗足学園前田ホール /
昭和音楽大学テアトロ・ジーリオ・ショウワ 他

Ⅱ ミューザ川崎シンフォニーホール事業 (指定管理者事業)

ミューザ川崎シンフォニーホールの指定管理者である「川崎市文化財団グループ」は、当財団及び(株)シグマコミュニケーションズ、サントリーパブリシティサービス(株)の3者で構成するもので、当財団は、当グループの代表者として事業を実施します。

今年度は、ミューザ川崎シンフォニーホール第3期指定管理者の初年度として、今まで以上にクラシック音楽を中心に芸術創造・発信を行い、音楽を通して市民生活の豊かさを提供し、市民と共にミューザ川崎シンフォニーホールをつくり、「音楽のまち・かわさき」のシンボルとして国内外にその存在感を示すとともに、充実した公演事業を展開していきます。

なお、一昨年よりミューザ川崎シンフォニーホールの芸術創造・普及啓発・人材育成など総合的な取り組みが評価され、文化庁劇場・音楽堂等活性化事業の全国トップ15館を対象とした「特別支援」に採択されており、わが国の文化のけん引役となることが期待されています。

1 音楽文化振興事業

- (1) 「フェスタサマーミューザ KAWASAKI 2015」をはじめとする、ミューザ川崎シンフォニーホール企画コンサート等の開催

ミューザ川崎シンフォニーホールの指定管理者として、フランチャイズ・オーケストラである東京交響楽団との共同企画によるホール看板事業の「名曲全集」、クラシック音楽のすそ野を広げることを目的としたホールシンボル事業の「フェスタサマーミューザ」、そして多彩なジャンルの公演を開催し、ホールファンの拡大を目的としたホール魅力アップ事業の「ランチタイム&ナイトコンサート」等、クラシック音楽を中心とした日本を代表するコンサートホールとしての事業展開を図ります。

また、初の試みとして、全国共同制作プロジェクトであるオペラ「フィガロの結婚」を開催します。

※予定事業 別紙1のとおり

- (2) 普及啓発（教育プログラム）や人材育成の展開

「こどもフェスタ」や「音の放課後プロジェクト」、若手演奏家育成事業、インターンシップ制度、アートマネジメントセミナーなどの展開により、次代への音楽文化継承や音楽家・制作者育成を進めてまいります。

(3) 広報宣伝及び友の会の運営

様々な媒体を活用してホールや公演の広報宣伝を行い、ホール集客率の向上に努めます。また、友の会会員を広く募集し、ホールを身近に感じ、ホールを支える基盤となるファンの獲得に努めます。

2 受託施設管理運営事業

(1) ミューザ川崎シンフォニーホールの運営

日本を代表するコンサートホールとして、また、市民に開かれた交流の場としてホールの活用を最大限に発揮するように、施設の適切な管理・運営に努めます。

Ⅱ-2 ミューザ川崎シンフォニーホール事業 (負担金事業)

ミューザ川崎シンフォニーホールが東日本大震災の被災によりホール公演が出来なかった2年間、川崎市において取組を進める「音楽のまちづくり」を継続的に実施し、市民に音楽鑑賞機会の提供、音楽活動の振興等を図ることを目的に代替公演事業を実施しましたが、ホール復旧後も市民から市内各地での公演継続要望が高いこともあり、さらなる「音楽のまち・かわさき」の推進を図るためにも、引き続き、川崎市においてアウトリーチ（地域における音楽文化の普及目的）公演を実施します。

1 音楽文化振興事業

(1) 「フェスタサマーミューザ KAWASAKI 2015」等でのアウトリーチ公演の開催

川崎市内外各地にて「音楽のまち・かわさき」を推進すべく、クラシック音楽のすそ野を広げることを目的としたホールシンボル事業の「フェスタサマーミューザ」公演や東京交響楽団等によるアウトリーチ公演を開催することにより、クラシック音楽を中心に芸術創造・発信を行う事業展開を図ります。

※予定事業 別紙2のとおり

(2) アウトリーチ公演の広報宣伝

様々な媒体を活用して、アウトリーチ公演の広報宣伝を行い、集客率の向上に努めます。

平成27年度 ミューザ川崎シンフォニーホール主催・共催公演

◆「魅力ある街プログラム」(シンボル事業)

○「フェスタサマーミュージアKAWASAKI 2015」

◆フェスタ サマーミュージア KAWASAKI 2015		基本パターン
●東京交響楽団 オープニングコンサート	7月25日(土)	S 4,000円
●サマーミュージア スペシャル・プラス	7月26日(日)	A 3,000円
●サマーナイト JAZZ!	7月27日(月)	B 2,000円
●東京フィルハーモニー交響楽団	7月29日(水)	
●読売日本交響楽団	7月30日(木)	8/8 S 5,000円
●洗足学園音楽大学	7月31日(金)	A 4,000円
●NHK交響楽団	8月1日(土)	B 3,000円
●新日本フィルハーモニー交響楽団	8月2日(日)	8/9 S 6,000円
●ジュニア・オーケストラ発表会	8月3日(月)	A 4,000円
●東京ニューシティ管弦楽団	8月3日(月)	B 3,000円
●神奈川フィルハーモニー管弦楽団	8月4日(火)	
●東京都交響楽団	8月5日(水)	7/31、8/6、8/1ジュニア
●昭和音楽大学	8月6日(木)	指定1,000円
●日本フィルハーモニー交響楽団	8月7日(金)	
●東京シティフィルハーモニック管弦楽団	8月8日(土)	8/4 S 3,000円
●東京交響楽団 フィナーレコンサート	8月9日(日)	A 2,000円
◆こどもフェスタ2015		
●小川典子 ピアノコンサート	8月1日(土)	大人1,500円、子供500円
楽器体験コーナー、ミニコンサート、ワークショップなど	7月21日(火) ~7月23日(木)	

○「ミュージアの日」

<p>●ミュージアの日</p> <p>7月1日はホールの開館記念日、そして川崎市の市制記念日。その2つの記念日をミュージア川崎シンフォニーホールでは「ミュージアの日」として、フランチャイズ・オーケストラ東京交響楽団のオーケストラ公演(秋山和慶指揮)を中心に、音楽工房内の各種イベントなど、「音楽のまち・かわさき」らしい楽しい1日をミュージアが演出します。</p> <p>市内の公立小中学校はこの日休日となるため、小学生から楽しめる公演を午後後に開催します。</p> <p>・ホール公演 指揮:秋山和慶/管弦楽:東京交響楽団 ・音楽工房を利用したの無料イベント ・ジュニアプロデューサー企画による演奏会 など</p>	7月1日(水)	大人 2,000円 こども 1,000円
---	---------	-------------------------

◆音楽教育プログラム(次代への音楽文化の継承事業)

●こどもフェスタ2015(前掲)	7月21日(火) ~7月23日(木)	
●音のワークショップ	7月22日(水)	未定
●音の放課後プロジェクト	未定	未定
●ジュニア・プロデューサー(ミュージアの日関連企画)	全9回実施	未定

◆地域交流プログラム(市民交流・地域貢献事業)

○市民参加型事業

●ミュージア川崎 市民交響楽祭2015	6月21日(日)	
●ミュージア川崎 市民合唱祭2015	6月27日(土) 28日(日)	
●ミュージア川崎 市民吹奏楽祭2015	10月12日(月祝)	

○音楽大学オーケストラ・フェスティバル(ミュージア川崎シンフォニーホール/東京芸術劇場共同企画)

●洗足学園音楽大学/武蔵野音楽大学(会場:東京芸術劇場)	11月8日(日)	
●上野学園大学/東京藝術大学(会場:東京芸術劇場)	11月15日(日)	1回券
●昭和音楽大学/桐朋学園大学(会場:ミュージア)	11月28日(土)	全席指定 1,000円
●国立音楽大学/東京音楽大学/東邦音楽大学(会場:ミュージア)	12月6日(日)	
●音楽大学フェスティバル・オーケストラ 指揮:調整中 参加9大学の選抜メンバーによって結成される合同オーケストラ ※3月26日(土) 東京芸術劇場での公演あり	2016年 3月25日(金)	S 2,000円 A 1,500円

◆多彩なジャンルの魅力あるプログラム（多様な市民のための事業）

○MUZAランチタイムコンサート／MUZAナイトコンサート（各回12:10/19:00開演）

●吉田愛&アレックス・ガイ（オルガン）	4月21日（火）	全席自由 ランチタイム 500円 ナイト 1,000円
●12人のヴァイオリニスト（ヴァイオリン）	5月15日（金）	
●大竹淳子（ピアノ）&堀江一真（朗読）	6月2日（火）	
●ブラックボトムプラスバンド（ニューオリンズ・ジャズ・プラスバンド）	7月7日（火）	
●近藤岳（パイプオルガン）他	8月21日（金）	
●山下伶（クロマチックハーモニカ）&いちむじん（ギター・デュオ）	9月16日（水）	
●東京交響楽団メンバーによる弦楽四重奏＋クラリネット（クラシック編）	10月27日（火）	
●ウーゴ・ファトルーソ（ピアノ）&ヤヒロ・トモヒロ（パーカッション）	11月5日（木）	
●大木麻理（オルガン）&霧生貴之（トランペット）	12月2日（水）	
●上間善之&大野雄太（ホルン）&石井理恵（ピアノ）&チャーリー犬和田（司会）	1月27日（水）	
●石丸由佳（オルガン）&Die Sonne（ピアノ・デュオ）	2月26日（金）	
●大石将紀（サクソフォン）&有馬純寿（エレクトロニクス）他	3月15日（火）	

○MUZAアコースティック・ライブ

●Vol. 1 マルティン・シュタットフェルト（ピアノ）	5月28日（木）	全席自由 3,500円
●Vol. 2 H Zettrio（ピアノトリオ）	6月25日（木）	
●Vol. 3 ドミニク・ヴィス（カウンターテナー）&ストラディヴァリア（弦楽アンサンブル）	9月17日（木）	
●Vol. 4 SHANTI（ヴォーカル）	10月22日（木）	
●Vol. 5 アンサンブル・ウィーン（弦楽四重奏）	12月14日（月）	
●Vol. 6 上妻宏光（津軽三味線）&沖仁（フラメンコ・ギター）&伊賀拓郎（ピアノ）	2016年 2月12日（金）	

○その他公演

●東響ミニ・コンサート 平日の昼どきに東響のメンバーを中心に開催される無料コンサート（ミュージアム1階ガレリア）	6回実施予定 日程調整中	無料
●こどもの日オープンハウス	5月5日（火祝）	無料
●東日本大震災 復興チャリティーコンサート	3月11日（金）	無料
●ポジティブオルガン講座2016（市民交流室）	3回実施予定 日程調整中	未定
●MUZA音楽サロン（市民交流室） 音楽工房内の市民交流室（110名収容）で、東京交響楽団のメンバーとゲストにより、アットホームな雰囲気を楽しむレクチャー&コンサート。	3回実施予定 日程調整中	未定
●新たなジャズフェス（仮称：川崎ジャズフェスティバル）	未定	未定
●地域ロビーコンサート（仮称）	未定	未定

◆芸術創造型プログラム（基本的な事業）

○フランチャイズオーケストラ公演

①ミュージアムシンフォニーホール&東京交響楽団 名曲全集（ホール・東響共催公演）

●第106回 指揮：秋山和慶／ソプラノ（スキヤット）：半田美和子 E. シュトラウス：ポルカ「テープは切られた」／オネゲル：パシフィック231 J. シュトラウス二世：ポルカ「観光列車」／青木望：組曲「銀河鉄道999」 ヴィラ＝ロボス：カイピラの小さな列車／ロンビ：コペンハーゲンの蒸気機関車のギャロップ	4月26日（日） 14:00開演	
●第107回 指揮：高関健／ヴァイオリン：大谷康子 ヴィヴァルディ：ヴァイオリン協奏曲 1 短調／ブルッフ：ヴァイオリン協奏曲 第1番 メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲 1 短調 プロコフィエフ：ヴァイオリン協奏曲 第1番 2長調	5月10日（日） 14:00開演	

<p>●第108回 指揮：ジョナサン・ノット／ホルン：サボルチ・ゼンプレーニ／ピアノ：若林 顕 R. シュトラウス：ティル・オイレンシュピーゲルの愉快的悪戯／ホルン協奏曲 第2番 ストラヴィンスキー：バレエ音楽「ペトルーシュカ」（1947年版）</p>	6月14日（日） 14:00開演	
<p>●第109回 指揮：飯守泰次郎／ピアノ：アレクサンダー・クリッヒェル ボロディン：歌劇「イーゴリ公」より“ダッタン人の踊り” ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第2番／シベリウス：交響曲第2番</p>	7月5日（日） 14:00開演	
<p>●第110回 指揮：パトリチア・ピツアラ／ヴァイオリン：アリーナ・イブラギモヴァ メンデルスゾーン：序曲「フィンガルの洞窟」／ベートーヴェン：交響曲第7番 イ長調 モーツァルト：ヴァイオリン協奏曲第3番 ト長調</p>	9月27日（日） 14:00開演	
<p>●第111回 指揮：クシシュトフ・ウルバンスキ／ピアノ：小菅優 ベートーヴェン：「エグモント」序曲／ピアノ協奏曲第3番 ハ短調／交響曲第3番 「英雄」</p>	10月11日（日） 14:00開演	1回券 S 6,000円 A 5,000円 B 4,000円 C 3,000円 ただし第112回は、 S 8,000円 A 6,000円 B 4,000円 C 3,000円
<p>●第112回 指揮：ジョナサン・ノット／ピアノ：エマニュエル・アックス リゲティ：ポエム・サンフォニック～100台のメトロノームのための J. S. バッハ／ストコフスキー編：甘き死よ来たれ ショスタコーヴィチ：交響曲第15番 イ長調 R. シュトラウス：ブルレスケ ニ短調～ピアノと管弦楽のための</p>	11月23日（月祝） 14:00開演	ただし第108回・113回は、 S 7,000円 A 6,000円 B 4,000円 C 3,000円
<p>●第113回 指揮：大友直人／ソプラノ：小川里美／メゾ・ソプラノ：谷口睦美／テノール：西村 悟 バス：森雅史、合唱：東響コーラス 他 コレッリ：合唱協奏曲 ト短調 「クリスマス協奏曲」 ベートーヴェン：交響曲第9番 ニ短調 「合唱付き」</p>	12月26日（土） 14:00開演	
<p>●第114回 指揮：飯森範親 ベートーヴェン：交響曲第4番 変ロ長調／交響曲第5番「運命」／交響曲第6番「田園」</p>	2016年 1月31日（日） 14:00開演	
<p>●第115回 指揮：ハンスイェルク・シェレンベルガー／ヴァイオリン：郷古廉 ベートーヴェン：ヴァイオリン協奏曲 ニ長調／ブラームス：交響曲第2番 ニ長調</p>	3月13日（日） 14:00開演	

②モーツァルト・マチネ（全4回）

<p>●第21回 指揮：クシシュトフ・ウルバンスキ／クラリネット：エマニュエル・ヌヴェー モーツァルト：クラリネット協奏曲 イ長調／交響曲第40番</p>	5月31日（日） 11:00開演	
<p>●第22回 指揮：ジョナサン・ノット／ヴァイオリン：水谷晃／ヴィオラ：青木篤子 モーツァルト：ヴァイオリンとヴィオラのための協奏交響曲 変ホ長調／交響曲第25番 ト短調</p>	9月6日（日） 11:00開演	全席指定 3,500円
<p>●第23回 ヴァイオリン：グレブ・ニキティン／バリトン：甲斐栄次郎（指揮者なし） モーツァルト：歌劇「ドン・ジョヴァンニ」より序曲、アリア シャンパンの歌 チャイコフスキー：組曲第4番 ト長調「モーツァルティアーナ」</p>	11月15日（日） 11:00開演	
<p>●第24回 指揮：高関健 モーツァルト：行進曲 ニ長調／セレナード第7番 ニ長調「ハフナー・セレナード」</p>	2016年 2月27日（土） 11:00開演	

③その他の公演

<p>●ミュージア川崎ジルベスターコンサート2015 指揮：秋山和慶／管弦楽：東京交響楽団 他</p>	12月31日（木） 15:00開演	S 7,000円 A 6,000円 B 5,000円 C 4,000円
<p>●MUZAニューイヤーコンサート2016 コンサートマスター：大谷康子（ヴァイオリン）／東京交響楽団室内合奏団</p>	2016年 1月3日（日） 15:00開演	指定3,500円

○海外オーケストラ公演

●ザルツブルク・モーツァルテウム管弦楽団 指揮：アイヴァー・ボルトン／ピアノ：マルティン・シュタットフェルト ハイドン：交響曲第85番 変ロ長調「王妃」 モーツァルト：ピアノ協奏曲第20番 ニ短調／交響曲第41番 ハ長調「ジュピター」	5月31日（日） 17:00開演	S 12,000円 A 9,000円 B 6,000円
●ロンドン交響楽団 指揮：ベルナルト・ハイティンク／ピアノ：マレイ・ペライア	9月30日（水） 19:00開演	S 32,000～D 9,000円
●ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団 指揮：グスターヴォ・ヒメノ	11月11日（水） 19:00開演	S 25,000～D 9,000円

○ホールアドバイザー企画公演

●ホールアドバイザー秋山和慶&佐山雅弘企画 オーケストラで楽しむ映画音楽Ⅵ 指揮：秋山和慶／ピアノ：佐山雅弘／司会：中井美穂／管弦楽：東京交響楽団 ヴォーカル：新妻聖子、中川晃教 「風と共に去りぬ」「ニュー・シネマ・パラダイス」、デュカス：交響詩「魔法使いの弟子」他	4月12日（日） 15:00開演	S 7,000円 A 6,000円 B 5,000円 C 4,000円
●ホールアドバイザー小川典子企画 Noriko's Day Vol.3	10月31日（土）	未定
●ホールアドバイザー松居直美企画 「オルガンの未来へ Ⅱ」 パイプオルガン：調整中	2016年 2月11日（木祝） 15:00開演	S 3,000円 A 2,000円

○アーティスト in MUZA

●エマニュエル・アックス ピアノ・リサイタル	11月17日（火） 19:00開演	全席指定6,000円
------------------------	----------------------	------------

○オルガン公演

●オルガン新人演奏会 <共催>	5月2日（土） 13:30開演	1,500円
●ベルナル・フォクルル パイプオルガン・リサイタル	11月3日（火祝） 15:00開演	S 3,500円、A 2,500円
●MUZA パイプオルガン・クリスマス・コンサート2015 パイプオルガン：松居直美、近藤岳	12月23日（水・祝） 15:00開演	S 3,500円、A 2,500円

○スペシャルコンサート

●ウィーン少年合唱団 <共催>	6月7日（日） 14:00開演	全指定席 5,900円 舞台後方席 2,000円
●ハーゲン弦楽四重奏団 <共催>	9月26日（土） 14:00開演	未定

◆人材育成プログラム（音楽家・制作者育成事業）

●若手音楽家育成事業		
●ジュニア・オーケストラ育成事業		
●インターンシップ（大学等との連携）		
●制作者ネットワーク		
●アーティスト in ミューザ マスタークラス		
●音楽大学オーケストラ・フェスティバル（前掲）		
●MUZAソリスト・オーディション		
●学校教育との連携事業		

◆ステージアップ・プログラム（共同制作事業）

●全国共同制作プロジェクト 野田秀樹演出 歌劇「フィガロの結婚」新演出 指揮：井上道義／演出：野田秀樹／管弦楽：東京交響楽団／合唱：新国立劇場合唱団 他	6月17日（水） 18:30開演	S 12,000円 A 9,000円 B 6,000円 C 4,000円
---	---------------------	---

《参考》

◆東京交響楽団 川崎定期演奏会（貸館公演）

<p>●第50回 指揮：飯森範親／ピアノ：ニコライ・ホジャイノフ／ヴィオラ：青木篤子 混声合唱：東響コーラス ショパン：ピアノ協奏曲第2番 へ短調 カンチェリ：ステュクス～ヴィオラ、混声合唱と管弦楽のための ドビュッシー：海～管弦楽のための3つの交響的素描</p>	<p>4月18日（土） 17:00開演</p>	<p>S 7,000円 A 6,000円 B 4,000円 C 3,000円</p>
<p>●第51回 指揮：ジョナサン・ノット ストラヴィンスキー：管楽器のための交響曲 バルトーク：ピアノ協奏曲第1番、ベートーヴェン：交響曲第5番 ハ短調 「運命」</p>	<p>7月18日（土） 17:00開演</p>	<p>S 9,000円 A 7,000円 B 5,000円 C 4,000円 P 2,000円</p>
<p>●第52回 指揮：ジョナサン・ノット／メゾ・ソプラノ：藤村実穂子 児童合唱：東京少年少女合唱隊／女声合唱：東響コーラス マーラー：交響曲第3番 二短調</p>	<p>9月13日（日） 14:00開演</p>	<p>S 9,000円 A 7,000円 B 5,000円 C 4,000円</p>
<p>●第53回 指揮：マルク・ゴレンシュテイン／ピアノ：セルゲイ・カスプロフ ムソルグスキー（R=コルサコフ編）：交響詩「禿山の一夜」 ラフマニノフ：パガニーニの主題による狂詩曲 チャイコフスキー：交響曲第5番 ホ短調</p>	<p>12月12日（土） 17:00開演</p>	<p>S 7,000円 A 6,000円 B 4,000円 C 3,000円 P 2,000円</p>
<p>●第54回 指揮：ドミトリー・キタエンコ／ヴァイオリン：成田達輝 チャイコフスキー：歌劇「エフゲニ・オネーギン」～ポロネーズ チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲 二長調 シヨスタコーヴィチ：交響曲第5番 二短調</p>	<p>2016年 3月27日（日） 14:00開演</p>	<p>S 8,000円 A 6,000円 B 4,000円 C 3,000円 P 2,000円</p>

平成27年度 川崎市・ミュージアム川崎シンフォニーホール主催・共催公演(負担金事業)

月 日	曜日	会場	公演名/主な出演者/主な曲目	チケット料金
5月6日	水 振 休	テアトロ・ジュー オ・ショウワ	東京交響楽団コンサート 【出演】指揮：垣内悠希/ピアノ：須藤梨菜 【曲目】ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第2番、交響曲第2番	S 5,000円 A 4,000円 B 3,000円
8月2日	日	テアトロ・ジュー オ・ショウワ	フェスタ サマーミュージアム KAWASAKI 2015@しんゆり vol.1 【出演】指揮：現田茂夫/独奏：佐山雅弘（ピアノ）、小林美恵（ヴァイオリン）、 チェロ：海野幹雄/管弦楽：神奈川県フィルハーモニー管弦楽団 【曲目】三大協奏曲 新大陸からボヘミアへ・・・ガーシュウィン：ラプソ ディ・イン・ブルー、 ラロ：スペイン交響曲、ドヴォルザーク：チェロ協奏曲	S 4,000円 A 3,000円 B 2,000円
8月8日	土	テアトロ・ジュー オ・ショウワ	フェスタ サマーミュージアム KAWASAKI 2015@しんゆり vol.2 【出演】指揮：梅田俊明/管弦楽：東京交響楽団 【曲目】荘厳なる三大交響曲・・・シューベルト：交響曲第7番「未完成」、 ベートーヴェン：交響曲第5番「運命」、ドヴォルザーク：交響曲第9番「新世界より」	S 4,000円 A 3,000円 B 2,000円

Ⅲ 川崎市アートセンター事業（指定管理者事業）

川崎市文化財団は、平成 24 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日までの 5 年間、昭和音楽大学及び日本映画大学との共同構成体で川崎市アートセンター第 2 期の指定管理を行っています。アートセンターでは、地域の芸術・文化活動の創造発信及び交流の活動拠点として、日々多様な芸術文化活動の展開と鑑賞機会の提供に努め、芸術のまちづくりに寄与しているところです。平成 27 年度は、これまでの実績・経験を踏まえ、より効果的・効率的な事業運営と施設管理運営に努めてまいります。

1 芸術文化事業

(1) 舞台芸術等文化振興事業（アルテリオ小劇場）

平成 27 年度も地域劇場（リージョナル・シアター）の名に相応しく、舞台芸術作品の創造発信をとおして、人々の生きていく様や地域社会の基本的な価値観を表現していくとともに、演劇を担う人材の発掘・育成に努め、地域の芸術・文化資源を活用した質の高い事業を展開していきます。

① 「しんゆりシアター」

4 月は、しんゆりシアターミュージカルカンパニー公演として「アルテリッカしんゆり 2015」事業にも位置付けている、音楽劇「母さん」サトウハチローの詩と母のものがたりを 8 回上演します。

8 月は、青少年舞台芸術事業として、子どもや市民が楽しみながら舞台芸術に出会い、すぐれた鑑賞者となることを目的に、演劇とミュージカルのワークショップを開催します。

9 月は、昭和音楽大学との連携事業として、音大の学生や若手ミュージカル俳優の出演によるミュージカル「ファンタスティック」を上演し、地域人材の活用・育成に努めます。

10 月には、毎年取り組んでいるシェイクスピア作品の第 4 弾公演として、シェイクスピアの円熟期の傑作喜劇「恋の骨折り損」を全 8 回上演します。また、3 月には、劇団わが町による 4 回目の公演として「わが町一溝の口」を上演します。これはソートン・ワイルダーの戯曲「わが町」の舞台をアメリカから高津区の溝の口に置きかえた作品で、昭和 51 年に多摩芸術学園で初演し同年に第 5 回川崎市文化賞を受賞した作品です。

② 「しんゆり寄席」

市北部の定例寄席として親しまれている「しんゆり寄席」も4年目を迎えます。今年も初音家左橋師匠と桂米多朗師匠を世話役に、6月から3月まで月1回のペースで10回行います。毎回、多彩なゲストを迎え、古典や新作落語の魅力伝えていきます。27年度はこれまでの実績を基に、麻生区出身の若手落語家との連携や色物などの定期的な取り組み、ネタ出し、さらには各メディアを有効活用した広報活動など、様々な取り組みをとおして地域落語愛好者の拡大に努めていきます。

③ しんゆりジャズスクエア

「音楽のまちしんゆり」の推進にむけ、中高年をコアに若い世代も巻き込んだジャズコンサートを6回開催します。今年もスタンダードなジャズの名曲を中心に昭和音楽大学の編成によるバンドの出演など、幅広くジャズの愛好家の定着化を図っていきます。

④ 川崎・しんゆり芸術祭（アルテリッカしんゆり）2015

5月のゴールデンウィークを中心に「川崎・しんゆり芸術祭2015」を開催します。今回は27演目40公演で、4月25日のオープニング公演の藤原歌劇団オペラ「ラ・トラヴィアータ～椿姫～」を皮切りに5月6日までの12日間開催します。（川崎郷土市民劇を除く）会場は多摩・宮前区を含め8会場で、能・狂言の人間国宝、友枝昭世と山本東次郎、さらには落語家で人間国宝の柳家小三治を招くなど、川崎北部の総合芸術祭に相応しい一流演者による多彩で質の高いプログラムで開催し、芸術のまちづくりの推進に努めます。

また、こどもを対象としたコンサートでは、本格的な演奏会場でのオーケストラ演奏や宮前区での小・中学生による合唱とブラスの祭典、ジャズではジャズを気軽に楽しめるよう今回初めてジャズバー形式で開催することも大きな特徴の一つとなっています。

⑤ アート講座

「アルテリッカしんゆり2015」をより深く理解し楽しめるよう、出演予定の演者や一流講師による、芸術の魅力を学ぶゼミナールとして秋に開催します。

また、アート講座は「アルテリッカしんゆり」で活動するアートボランティアの育成の場でもあり、本講座から多くのボランティアが輩出されるなど、芸術祭を支える大きな力となっています。

(2) 映画・映像文化振興事業（アルテリオ映像館）

アルテリオ映像館では、ロードショー公開作品、新作・秀作の上映、国内・海外の優れた旧作の上映、視覚障害者のためのバリアフリー上映、子どもを対象にした映画鑑賞事業を行っていきます。

また、コミュニティシネマセンターとの協働による映像文化の創造発信事業、映画・映像の制作講座やワークショップなどによる人材育成事業を展開し、さらには、「アルテリッカしんゆり 2015」事業の一環としての企画上映、「KAWASAKI しんゆり映画祭」との共催など地域や地元大学との映像共催・連携事業に取り組んでいきます。

① 映画上映事業

月曜日と年末年始を除く毎日、一日5本（日曜日の夜間を除く）、ロードショー・新作・秀作、名画を上映し、年間45,000名以上の入場者を目指します。

バリアフリー事業では、視覚障害者に映画を楽しんでもらうための副音声ガイド付き上映、2歳～5歳までの幼児を預かる保育付き上映を計画的に行います。

また、将来の映画ファンの育成に向け、中学・高校生を対象にした「放課後シアター」を夏、冬、春休みに開催し映画ファンの裾野を広げていきます。

関係団体との連携事業としては、コミュニティシネマセンターの「シネマ・テーク・プロジェクト」や「シネマ・シンジケート」に参加し、全国展開の協働上映を実施します。また、日本の古典映画の鑑賞にワークショップを加えた「映画タイムマシン」を行います。今回も「音」をテーマに行っていきます。

② 文化創造事業

上映作品や映画史に関連した監督や俳優、評論家をゲストに招いての作品解説や、あさお芸術のまちコンサート実行委員会と連携してのシネマサロンコンサートを計画的に開催します。

こども向けワークショップは、小学生を対象に夏休みと春休みにアニメーションや映画のワークショップを開催します。また、撮影や編集の基本的な技術を習得するための「3分間ビデオ制作入門講座」（全10回）を秋から開催します。

③ 共催事業

「KAWASAKI しんゆり映画祭」は、今年で第21回目を迎えます。27年度も映画祭事務局と連絡を密に取り、打合せやボランティア研修を共同で企画するなど、よりよい運営を行っていきます。

また、日本映画大学との連携・協力を一層深め、関係者をはじめ、多くの市民が躍動する「しんゆり映画祭」の継承と発展を目指していきます。

④ 広報・宣伝事業

「アルテリオ・シネマニュース」の年12回の発行（各回3万部）やホームページ、メールマガジンを活用した広報活動に努めるとともに、企画特集ではチラシ・ポスター、鑑賞の手引等を作成し個別企画の情報提供と広報・宣伝に努めます。

また、映画鑑賞サービスの一環として、会員価格等に特典のある「シネマ会員」の会員数の充実に努めます。

2 川崎市アートセンターの管理運営事業

27年度は、第2期指定管理の4年目で第3期指定管理者の応募時期にあたります。昭和音楽大学、日本映画大学との緊密な連携をとり、市の仕様書に基づき、これまでの実績をさらに次の運営に活かすとともに、新たな事業にも取り組んでいく提案書を共同で作成し、次期指定管理を確保していきます。

また、「アルテリッカしんゆり 2015」事業を始め、他の文化施設や地域の団体とのネットワーク化を進め、芸術文化の創造発信、芸術家との交流促進、舞台芸術と映像芸術作品の鑑賞機会の提供ができる施設として、更に認知度を高め、来館者・利用者の促進に努めるとともに、「しんゆり・芸術のまち」の拠点に相応しい施設として適切な管理運営を行っていきます。

また、「福祉のまちづくり条例」に適合したバリアフリー化された施設として、引き続き着実な施設運営に努めていきます

平成27年度川崎市アートセンター事業計画案（アルテリオ小劇場）

月	事業分類	分野	アーティスト	公演名	概要	助成
4月～5月	創造発信事業	ミュージカル	作 堀江安夫 演出 横山由和	しんゆりシアター・ミュージカルカンパニー公演-音楽劇「母さん」 8回公演	4年目となる地域劇場「しんゆりシアター・ミュージカルカンパニー」公演。昭和音楽大学等地域の協力を得て、アートセンターからの舞台芸術作品の創造発信を行い、地域の発展と活性化を促す。アルテリッカ2015公演として4月25日～5月2日に開催する。	文化庁 劇場・音楽堂等活性化事業の活動別支援事業（予定）公演事業
5月	鑑賞事業	演劇	京楽座	中西和久一人舞台「山椒大夫考」	京楽座がゴールデンウィークに新百合ヶ丘に演劇の真髓を贈る。アルテリッカ公演としては2回目の登場。5月4日に開催。	
5月	鑑賞事業	演劇	人形劇団ひとみ座	「美女と野獣」 2回公演	人形劇団ひとみ座が、ゴールデンウィークに贈る大人も子供も楽しめるプレゼント。今回もアルテリッカ公演として5月6日に開催する。ひとみ座は2014年に引き続きのアルテリッカ公演となる。	
6月～3月	鑑賞事業 地域連携事業	寄席	桂米多朗師匠 初音家左橋師匠ほか	しんゆり寄席 10回公演	南部のブラザソ「ラゾーナ寄席」とともにスタートし、北部の月末の定番として地道に開催してきた「しんゆり寄席」の4年目。この地域に根差すように内容を吟味し、特徴のある寄席を目指す。今回もポランティアなど地域が育み、支える集客、交流体制で開催する。	文化庁 劇場・音楽堂等活性化事業の活動別支援事業（予定）普及啓発事業
6月～2月	鑑賞事業 地域連携事業	コンサート	エリアブレイク、 プレルーディオ共催	しんゆり ジャズスクエア 6回公演	「音楽発信のまち しんゆり」を浸透させていくため、ジャズの定期公演を始めて4年目。昭和音楽大学バージョン公演を取り入れ、「楽しく、気軽に、なつかしく」などをキーワードに50代以上の世代と若い世代がコラボできる公演になるよう、さらに充実した内容で開催する。	
7月～8月	創造発信事業 青少年舞台芸術事業	演劇ワークショップ ミュージカルワークショップ	西垣耕造、大谷賢治 郎ほか	しんゆりシアター・夏休みワークショップ・フェスティバル	毎年人気のある「演劇ワークショップ」、 「ミュージカルワークショップ」を夏休みに開催する。こどもや市民が楽しみながら舞台芸術を学ぶとともに、優れた鑑賞者となることも目標とした参加型事業。	
9月	鑑賞事業 地域連携事業	ミュージカル	演出 横山由和 出演 昭和音楽大学学生・若手ミュージカル俳優	ミュージカル「ファンタジー」	小規模ホールの特性を生かし上演するミュージカル公演の3回目。本公演は、指定管理共同構成体である昭和音楽大学の人的資源を中心に活用して実施する。地域の中で舞台芸術に親しんでもらう土壌を更に発展させる。	芸術文化振興基金
10月	創造発信事業	演劇	作：シェイクスピア 訳：松岡和子 演出：河田園子	しんゆりシアター・シェイクスピア喜劇公演「恋の骨折り損」	毎年秋に開催しているしんゆりシアター・シェイクスピア喜劇上演。27年度は、シェイクスピアの円熟期の傑作喜劇を上演します。	
3月	創造発信事業	演劇	作 長岡輝子 演出 ふじたあさや 出演 劇団わが町劇団員	しんゆりシアター・劇団わが町「わが町一溝の口」 4回公演	公募からなる市民で結成し3年を経た地域劇団「劇団わが町」。劇団員の入れ替えもあり、新鮮味を加えて「わが町しんゆり」、「夢見る太郎」、「チェーホフ」に引き続き第4弾で、長岡輝子作の「わが町一溝の口」を再演する。	文化庁 劇場・音楽堂等活性化事業の活動別支援事業（予定）人材養成事業
10月～3月	アートボランティアの養成事業（要綱第3条第1号）	講義	講師 幅広いジャンルの著名人	川崎・しんゆり芸術祭発 アート講座vol. 7	講師に文化芸術分野の著名な方々を迎え、幅広いジャンルの舞台芸術や映像の世界をより深く理解し、楽しむとともに、「芸術によるまちづくり」の一助となるゼミナールを開講し、アルテリッカへと繋げていく。	文化庁 文化芸術グローバル化推進事業
4月～5月	鑑賞事業、 地域連携事業	総合	出演 一流演者	川崎・しんゆり芸術祭（アルテリッカしんゆり）2015	2009年度にスタートしたアルテリッカしんゆり芸術祭。2015年度は、7回目を迎える。麻生区のほか、多摩区、宮前区に拡大し、25,000人を超える入場がある「川崎北部」の総合芸術祭として定着してきた。アートセンターは、アルテリッカ実行委員会の庶務機能・調整機能を担当する。	
通年	地域の劇団、カンパニー、大学・高校の演劇部などと連携し、「しんゆり・芸術のまち」の拠点として相応しい事業を進める。 アルテリオ小劇場の広報宣伝活動に努め、貸館利用を促進させる。					

平成27年度川崎市アートセンター事業計画案（アルテリオ映像館）

事業名	実施時期	企画名	概要	
映画上映事業 (コミュニティシネマ)	①新作上映	通年	ロードショー公開（都内同発もしくは直近を年2～3本）、新作・秀作上映月4～6本。	
	②名画上映	通年	日本映画、外国映画の名画、監督、俳優作品 国内外の優れた旧作映画の上映。	
	③バリアフリーシアター	15回程度	目の不自由な方のための副音声ガイド付き上映、年4～6作品。 保育（対象2～5歳）付き上映、年6～8作品。	
	④親子deシネマ	春、夏、冬 休み	春、夏、冬休みに未就学児から小学校児童及び中学生生徒を対象とした秀作上映。	
	⑤放課後シアター	通年	中学・高校生を対象とした、トークやワークショップ付き上映。	
	⑥企画・特集上映	6～7月	ビバ♪音楽映画特集	麻生音楽祭協賛企画の特集。
		7～8月	平和のためのロードショー	平和を考える特集上映。
	⑦上映支援・コミュニティ上映	通年	地域や団体・個人が企画制作した優れた作品の上映支援。 地域や団体からの提案に基づく上映及び団体鑑賞、上映会のサポート。 その他、自主上映会を開催したい上映者のサポート、夕方や夜の回の時間を使い開催。	
	⑧団体鑑賞	通年	各種団体による鑑賞 子ども会、学校、老人施設ほか地域の団体や近隣大学などによびかけ、鑑賞を推進。	
	⑨コミュニティシネマセンターとの協働	不定期	シネマテーク・プロジェクト選定作品	コミュニティシネマセンターに参加する全国の映画館・公共施設との連携による優れた作品選定と協働上映及び配給（新作・旧作）。
通年		シネマ・シンジケート選定作品		
⑩映画タイムマシン	夏休み	日本の映画の鑑賞とワークショップ	親子で一緒に鑑賞する機会の少ない日本映画を上映する。開催中は内容に合わせたワークショップを行い、映像文化に触れる機会を提供する。	
文化創造事業	①ゲストトーク・講座・イベント	通年	映画に関連した講座やトーク 上映作品や映画史に関連した監督・俳優・評論家等による作品解説、イベント、シンポジウム等の開催。	
		通年	シネマ・サロンコンサート あさお芸術のまちコンサート実行委員会等と協力して、シネマ・サロンコンサートを開催。	
	②子ども向けワークショップ	夏休み 春休み	アニメーション教室 映画ワークショップ	監督・制作者を講師に迎えたワークショップ。
		秋～冬（10回程度）	ビデオ制作入門講座	撮影・編集の基本的な技術を身につける。
	④バリアフリー・ガイド制作	年4～5作品	バリアフリーガイド制作	目の不自由な方のためのバリアフリーガイドを年4～5作品制作。
⑤8周年事業	11月		8周年事業としての映画上映。□	
共催・連携事業	①KAWASAKIしんゆり映画祭	秋	第21回KAWASAKIしんゆり映画祭開催 KAWASAKIしんゆり映画祭との共催。	
	②川崎・しんゆり芸術祭（アルテリッカしんゆり）	4月末～5月初旬	川崎・しんゆり芸術祭（アルテリッカしんゆり）2015 アルテリッカしんゆり公演の賛助企画を中心とした企画上映。日本映画学校卒業の監督作品特集のシネマ列伝第2弾。	
	③映像のまち・かわさき	通年		映像のまちかわさき推進フォーラムと連携した映像文化の発信。
事業賞	①映画に関する企画展示		ロビーやコラボレーションスペースを活用し、映画史や上映作品に連動した企画展示を行う。	
事業支援	①撮影・制作支援	通年	撮影・制作支援 ロケ地としての活用を支援。 編集室・録音室の利用促進、制作支援。	
会員事業	①会員の拡大	通年	会員システムの告知とサービスの充実により会員を拡大。	
広報・宣伝事業	①シネマ・ニュースの発行、パブリシティ展開、ウェブの活用	通年	アルテリオ・シネマニュース（月刊）の発行 新聞・地域メディア・専門誌などでの情報発信 ホームページやウェブでの情報発信 アルテリオ・シネマニュース：上映作品紹介、シネマエッセイ、見どころノート、イベント情報などを掲載し、毎月制作発行。 地域情報誌や専門誌などへの広報の充実。 ホームページやメールマガジンの充実。	

IV 東海道かわさき宿交流館事業 (指定管理者事業)

1 東海道かわさき宿交流館について

川崎市は、東海道や大山街道等の街道と宿場、川崎大師の参詣などにおける人の往来と営みの中で文化を育んできた歴史的経過があり、とりわけ東海道川崎宿は、川崎市において重要な歴史的・文化的資源となっています。

東海道かわさき宿交流館（以下、「交流館」という。）は、東海道川崎宿の歴史、文化を学び、それを後世に伝えるとともに、地域活動や地域交流の拠点となる施設の建設について、地域から長年にわたり提案や要望が行われてきたことに応じて、川崎市が設置した平成 25 年 10 月 1 日にオープンした施設です。

2 指定管理者 川崎市文化財団・川崎市観光協会グループ

「川崎市文化財団・川崎市観光協会グループ」（構成員は、当財団及び一般社団法人川崎市観光協会。）は、平成 25 年 9 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日までを指定期間とする交流館の指定管理者となっており、オープン以来 1 年半が経過した平成 26 年度末までに、約 8 万人の来館者を迎えることができました。

川崎市文化財団は、「川崎市文化財団・川崎市観光協会グループ」の代表者として、今年度につきましても、来館者の声に応えるよう研鑽を重ね、市民サービスの向上と積極的な業務内容の改善、運営の効率化に努め、交流館の管理運営事業、及び交流館を活用した市民文化の振興事業等によって、市民等の文化振興と文化芸術活動を活かしたまちづくりの一翼を担ってまいります。

3 川崎市文化財団・川崎市観光協会グループ構成員の役割

(1) 公益財団法人川崎市文化財団の業務

- ・企画展示、その他のイベント等に係る企画立案及び実施業務
- ・収入金の請求・収受、支出金の支払、資金管理等の経理事務
- ・その他管理業務全般（総務、施設管理業務、貸館業務、販売業務等）

(2) 一般社団法人川崎市観光協会の業務

- ・企画展示、その他のイベント等に係る企画立案及び実施業務に係る観光関係機関等との連携調整等
- ・交流館の利用促進のための観光関係機関等との連携調整等
- ・交流館の売店における「かわさき名産品」等の販売品目の仕入業務等

4 常設展示事業

交流館は、江戸時代の東海道川崎宿の様子やこれとつながる川崎の地域資源に関する情報を発信し、多くの方に市域に足を伸ばしていただく機会を提供することをテーマとしており、映像・グラフィックを活用した展示を中心とし、手に取り体感できる展示品もまじえて、楽しみながら地域の歴史と文化に触れることができる施設であり、また入館料無料であることから、繰り返し気軽に立ち寄っていただける施設です。

当財団は、交流館の特徴を十分認識して、次のことに留意し市民の交流拠点として親しまれる交流館となるよう運用してまいります。

- (1) 交流館を広く周知し来館を促すため、多様な広報媒体を利用して、市民等に交流館の魅力と特徴を発信します。
- (2) 来館者が交流館において快適で充実した時間を過ごし、満足度を高めてお帰りいただけるよう、ホスピタリティを持って来館者を迎え案内します。
- (3) 地域をよく知る市民ボランティアの協力を得て、来館者が楽しく観覧できるよう展示の趣旨・見どころや地域情報等を案内します。

5 企画展示事業

地域の歴史と文化を中心とする多様な文化を発信する交流館に相応しい内容の企画展を3階展示室において定期的に開催し、常設展示とともに来館者に観覧していただくことで、市民等の文化振興を図ります。

企画展示においては、地域の文化団体や文化活動グループ、展示関連情報の研究者・保有者、川崎市の文化・教育関係部署等の協力を仰いで、来館者や地域の声を反映した展示を企画・実施します。

- (1) 特別展
地域の文化振興につながる特別企画展を開催します。
- (2) 定例的企画展
多くの来館者からの昔の記憶がよみがえりなつかしいとの意見に応じて、昭和年代の資料写真と情報を展示します。また、当時、映画館で上映されたニュース映画映像を流します。
- (3) 年間予定
4月・・・「作詞家としての佐藤惣之助」展（仮題）

- 5月・・・・・・大石芳野写真展「福島 土と生きる」（仮題）
- 6月・・・・・・川崎市観光写真コンクール受賞作品展
- 10月・・・・・・開館2周年記念 浮世絵展
- 11月・・・・・・現代アート展
- 1月・・・・・・新春 浮世絵展

(4) その他・・・・・・

昭和30～40年代の写真と資料展のほか、街道、地域の観光、郷土史、ゆかりの人物、まちの変遷等を展示テーマとする、地域の文化振興につながる企画展を順次実施します。

6 文化イベント事業

交流館を活用した各種文化イベントを、地域の文化団体や文化活動グループ等の協力を得て実施し、地域文化の振興と地域交流の推進を図ります。

(1) 街道シリーズ講演会

「宿場・街道」をテーマとする講演会は、平成26年度に4回開催し、好評を博してきたので、今年度も引き続き年4回開催します。

(2) 「江戸時代の粋に遊ぶ」シリーズ

公益社団法人 日本芸能実演家団体協議会の協力により、江戸時代からつながる芸能文化を紹介する公演は、開館以来12回を重ねて来ました。

このイベントは、公演鑑賞に加えて、演者とナビゲーターと対談、演者と観客との質疑応答、観客が芸のさわりを体験するコーナーなどを特徴としており、鑑賞機会の少ない伝統芸能をわかりやすく紹介することをテーマとしています。こうした特徴を継承、発展させた企画により、今年度も隔月で年6回の公演を実施します。

(3) 子どもアート体験教室

小学生を対象に夏休み、春休み期間中に、クラフト等のアートを体験できる教室を実施します。

(4) かわさき歴史ガイド養成講座

NPO 法人かわさき歴史ガイド協会と連携し、交流館や川崎宿周辺の史跡等を案内する市民ボランティアのガイドを養成する講座を開催します。

(5) 東海道ウォーク

日本橋を起点に箱根関所までの東海道（約 127km）を 12 区間に分けて、毎月 1 回歩くウォークイベントを平成 27 年 4 月～翌年 4 月まで（8 月を除く）の期間に開催します。各コースのガイドには、宮前区観光協会の協力をいただきます。

(6) 市民愛好家との連携による寄席等の開催

交流館においては、アマチュア落語家等の芸能愛好者による寄席や、文化協会等による一般市民が鑑賞できるコンサート等の公演が開催され、多数の方が来館し楽しんでいただいています。こうした活動をさらに発展させるため、交流館と市民愛好家等との共催事業として広報活動等に積極的に協力することで、市民による文化活動を支援するとともに、一層の来館者の増加につなげてまいります。

(7) 他施設との連携イベント

川崎市文化財団が中心となって 5 月に開催される佐藤惣之助をテーマとする演劇「華やかな散歩」の関連事業として、昨年度、交流館において市民参加の歌謡祭、シンポジウム等が開催され、公演に向けた機運を盛り上げました。こうした連携事業を一層発展させ、川崎駅周辺で川崎市文化財団が管理運営するミュージアム川崎シンフォニーホール、ラゾーナ川崎プラザソル、アートガーデンかわさき、川崎能楽堂と連携した文化イベントを企画していきます。

7 施設利用事業

(1) 集会室等の利用促進

交流館 4 階の集会室（119 m²）及び談話室（15 m²）は、地域活動や市民交流等の多様な用途の利用できる有料の貸出施設です。

これらの施設について、利用者ニーズに応えた利用方法等の工夫改善に努めるとともに、文化団体や市民活動グループ等に活動の場としての利用を提案し、地域交流の推進を図ります。

(2) 来館者おもてなし

交流館の 1 階は、お休み処「万年屋」や休憩コーナー等の、まち歩きの人や地域の方が気軽に立ち寄り交流できるスペースです。これらの施設を多くの方にご利用いただくことで、地域を活性化できるよう、良好な利用環境の

維持とホスピタリティを持った接遇に努めます。

(3) 利用者意見等の把握と改善

来館者の声を収集するアンケート用紙と投函箱を常時設置します。また、職員等が利用者から要望等を受けた場合には、業務日報等に記入します。

これらの情報を職員間で共有することにより、来館者意見を反映した事業実施や運営の工夫改善につなげます。

(4) 施設の保守管理

施設管理業務を委託する専門業者による設備等の保守点検や清掃・警備等の管理運営を適正に管理するとともに、日常点検に努め、施設を常に良好な状態に維持し、来館者への安全安心な環境の提供と、施設の長寿命化を図ります。また、管理状況等を川崎市と情報共有し、必要な修繕等について協議を行います。

8 地域・学校等との連携

(1) 地域活動支援

- ① 来館者案内や交流館事業に携わる市民ボランティアを育成・支援し、協働による交流館事業を通して、地域の活性化を図ります。
- ② 集会室を利用した地域活動等を活性化するため、活動参加者の募集等を支援します。
- ③ 地域に親しまれる施設を目指して、地域のまつりやイベント等に積極的に参加協力します。

(2) 東海道かわさき宿交流館運営委員会

地域住民や関係機関等を構成員とし、当財団が事務局となる「東海道かわさき宿交流館運営委員会」において、地域住民や行政との意見交換、地域住民の交流館運営への参画、地域の活性化に向けた連携・協働等を推進していきます。

(3) 「東海道川崎宿を活かした地域活性化推進組織」との連携

地域住民を中心とする「東海道川崎宿を活かした地域活性化推進組織」は、東海道川崎宿を活かした地域活性化を目的として事業を展開し、その目標とする取組を、市民提案書「東海道川崎宿 2023 いきいき作戦（以下、「いきいき作戦」）」としてまとめました。（2023 は川崎宿起立 400 年の年です。）交流館は、この組織と連携して、その取組の支援・協力等に努めます。

(4) 学校等との連携

交流館を校外学習の場として活用していただけるよう近隣の学校等と連携して、次のとおり学習支援事業を実施します。

- ① 学校、教育委員会等の協力を得て、昨年度に作成した児童向けの学習ワークシートを活用し、学校による交流館利用を促進します。
- ② 学習ワークシートの利用による教員向け指導マニュアル等についても、学校、教育委員会等の協力を仰ぎながら作成します。
- ③ 学校等に来館を呼びかける資料として、また、来館が難しい学校においても、交流館の展示内容を学習に利用する資料として活用できる展示映像 DVD を貸出します。

(5) ボランティア育成と活用

地域住民が主体的に交流館事業に関わり、交流館を活用した文化振興やその他地域交流につながる活動によって、自らのやりがいを見出し、交流館への親しみと地域の歴史と文化への理解が増すよう、次の事業を実施します。

- ① NPO 法人かわさき歴史ガイド協会と連携し、かわさき歴史ガイド養成講座の受講生の市民ボランティアが来館者の案内を行う体制をつくります。
- ② 文化イベント等においても、市民ボランティアとの協働により実施できるよう、ボランティア活動を支援し、人材の育成とネットワークづくりに努めます。
- ③ 集会室等を利用して、市民交流につながる多様な活動が発展するよう、情報発信や連携構築等の支援を行います。
- ④ 外国人来館者の受け入れ体制に向けたボランティアとの協力関係構築

9 情報収集・発信

(1) 歴史文化資料・情報の収集・提供

東海道川崎宿に関連する歴史文化に関する資料・情報等を収集・整理します。

- ① 企画展示テーマに関する資料・情報等を収集・整理し、来館者のニーズに応える魅力的な企画展示を実現します。
- ② 学術的調査等については、川崎市市民ミュージアム、川崎市教育委員会文化財課、川崎市立図書館等に協力を仰ぎます。
- ③ 交流館のテーマとして相応しい歴史文化等を自主的に研究している市民等を発掘し、協働によりその成果を交流館で発表する機会を設ける等、市民連携による情報収集及び調査研究を推進します。

(2) 交流館ホームページ

交流館ホームページを活用し、交流館展示の魅力・特徴の紹介、イベント開催情報等を逐次発信します。タイムリーな情報更新により、サイトを頻繁に閲覧するファンと交流館利用者の拡大を図ります。

(3) 交流館だより（仮称）

定期的な情報発信により交流館を身近な施設として親しんでいただくため、交流館の最新情報、イベント情報、展示に関する情報等を掲載した広報紙「交流館だより（仮称）」を発行し、館内や関係施設等で配布します。

(4) その他広報等

次の方法を中心にして、交流館の広報活動を実施し、来館者の増加に努めます。

- ① 交流館チラシ、ポスターの作成、配布、掲出依頼
- ② 地域のまつりやイベント等へ参加等による広報
- ③ かわさきFMの当財団の広報放送枠の活用
- ④ マスコミや地域のタウン誌等に対するタイムリーな情報提供
- ⑤ 街道をテーマとする市内外の施設との連携（広報資料の相互提供等）
- ⑥ 旅行企画会社等による交流館来館を含むまち歩きツアー等への協力
- ⑦ 他都市の観光協会等との連携

10 物販事業

交流館受付に隣接するショップコーナーにおいて、来館者ニーズにマッチする記念グッズ商品や、「かわさき名産品」の認定商品等を販売し、来館の楽しさをアップします。

11 職員研修

来館者の求めに応じた適切な接客ができるよう、職員研修により必要なスキルを身に着けます。また、個人情報保護、来館者対応、業務管理等について、日々の業務における「気づき」を改善につなげる取組や職員研修等を継続的に実施します。

12 危機管理

防火・防災や想定される多様な危機事象に適切に対応できるよう、危機対応訓練や継続的な改善活動により対応力の強化を図ります。